

沖レクだより

平成31年「新年を迎えて」

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

有資格者会員の皆様、加盟・協力団体、関係団体の皆様には、よいお年をお迎えになられたことと思います。旧年中は皆様のご支援、ご協力のお蔭で多くの事業を無事盛会裏に実施することができました。特に、レク仲間の集いと同時開催しました浦崎猛前会長の「平成30年度沖縄県功労者賞受賞祝賀会」にはレク仲間や関係団体の友人知人等多くの皆様のご臨席を賜り、祝賀会を盛り上げて頂きました。衷心より感謝申し上げます。

本年も倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、(公財)日本レクリエーション協会では、平成31年度の基本方針(2つ)と重点施策(7つ)が次のように示され、重点的に取り組んでいくとしています。

1、「スポーツ・イン・ライフ」の推進

- ①健康スポレクひろば実施地域の拡大
- ②スポーツ・レクリエーション種目の活用・普及を図る
- ③ニュースポーツ種目の普及
- ④元気アッププログラムの普及

2、「心を元気にする」公認指導者のすそ野拡大と継続的な学び・活動を支える仕組みづくり

- ①レク・サポーター研修の普及
- ②レク・インストラクター資格の学習方法の見直し
- ③レク・インストラクター資格のスキルアップ制度の整備

沖縄県レクリエーション協会でも、連動して取り組むと同時に、当協会独自事業の更なる推進とスポーツ・レクリエーションの普及発展にも一丸となって取り組んでまいります。

平成最後の新しい年が、「災い転じて福となす」亥~年となるようお願い、レクを愛する仲間の皆様のご健康とご多幸、より一層のご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



沖縄県レクリエーション協会
会長 吉田 明正

スポーツ振興部門

浦崎猛氏（前会長）沖縄県功労者賞受賞

永年にわたりレクリエーションの普及発展はもとより、スポーツや、ラジオ体操、キャンプ等の普及振興を通して指導者の養成、育成に尽力し、沖縄県レクリエーション協会や県ラジオ体操協会等の設立から組織運営まで携わり、役員や会長を務める等組織の維持発展に貢献された。また、子ども達の体力向上や居場所づくり等青少年の健全育成、中高齢者の健康づくり、福祉事業の推進等にも献身的に貢献された功績大なることで、平成30年11月3日パシフィックホテルにおいて、スポーツ振興部門で「沖縄県功労者」として表彰されました。沖縄県レクリエーション協会からは仲本興真氏(2代目会長)に次ぐ受賞となりました。誠にありがとうございます。



編集/発行 沖縄県レクリエーション協会

〒904-2173 沖縄市比屋根5丁目3番1号 沖縄県総合運動公園内

TEL&FAX 098-932-9870 メール oki-rec1974@jewel.ocn.ne.jp

HPアドレス <http://oki-rec.jimdo.com>

スポーツくじ



この広報誌はスポーツ振興くじ
助成金を受けて発行しています

第31回沖縄県レクリエーション研究集会及びレク仲間の集い 浦崎猛氏 平成30年度沖縄県功労賞受賞祝賀会を盛大に開催！

12月9日ラグナガーデンホテルにおいて、恒例のレク仲間の集いと浦崎氏の県功労賞受賞祝賀会を同時に開催しました。一部と二部に分けて開催し、レク仲間や関係団体の皆様、浦崎氏の親しい友人・知人 200名余が集い、楽しく親睦を深めながら受賞を祝いました。

第一部は、「ふれあい音頭」斉唱で始まり、知花光英氏の演題「工夫・サポートからなるユニバーサル生活」に学び、スポレク活動賞 10名の表彰を行いました。

第二部の祝賀会では、来賓祝辞や友人からの楽しいエピソードを頂き、ステージでの活動発表に拍手し、おいしい食事に舌鼓を打ちながら、浦崎氏の受賞を喜び、祝いました。

プログラムの締めは、きょうの喜びと来る年のお互いの健康と飛躍を願い、仲本興真顧問のリードで、参加者全員が輪になって「あなたと私」を歌い踊り、お開きとなりました。



第31回沖縄県レクリエーション研究集会及びレク仲間の集い

〈講演〉

演題「工夫・サポートからなるユニバーサル生活」

講師：知花光英氏

ちばなみつひで

知花光英先生プロフィール

1960年 読谷村生まれ

1967年 読谷小学校入学

以後、緑内障による視力低下で沖縄盲学校に転校、小・中・高等に進み、1982年理学科専攻科卒。

1982年 沖縄盲人福祉会（現 沖縄県視覚障害者福祉協会）就職

1998年 同施設長（沖縄点字図書館長就任）

2009年～2011年

九州視覚障害者情報提供施設協議会会長就任

2018年4月～ 社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会理事長就任

現在に至る。



講師の知花光英先生



受賞者代表挨拶の細田奈々さん

受賞者名（紹介）



平成30年度生涯スポーツ・レクリエーション活動賞 受賞者

- 比嘉敬子（国頭地区レクリエーション協会）
- 新屋三知（うるま市レクリエーション協会）
- 細田奈々（沖縄県福祉レクリエーション・ネットワーク）
- 浦崎政市（沖縄県民踊指導者連盟）
- 赤嶺香（レクダンスおきなわ団体連絡協議会）
- 与那城洋子（国頭地区民踊団体連絡協議会）
- 石川愛子（中頭地区民踊団体連絡協議会）
- 我那覇生榮（那覇地区民踊団体連絡協議会）
- 古堅達枝（島尻地区民踊団体連絡協議会）
- 古波蔵ヨシ子（那覇婦連民踊研究会）

平成30年度レクリエーション運動普及振興功労賞 受賞者

- 金城容子（島尻地区レクリエーション協会）

《浦崎氏沖縄県功労賞受賞祝賀会》



浦崎 猛氏プロフィール

- ・昭和12年7月10日生 ・沖縄県芸術大学名誉教授
- ・昭和47年～現在：沖縄県水泳連盟理事→普及委員長→顧問
- ・昭和48年～現在：沖縄地方ラジオ体操連盟理事長→副会長→会長
- ・昭和49年～現在沖縄県レクリエーション協会理事→理事長→副会長→会長→顧問
- ・昭和51年～平成13年：沖縄県体育協会理事→副会長
- ・昭和60年～現在：沖縄県キャンプ協会理事→副会長→会長
- ・平成22年 沖縄県ディスクゴルフ協会設立、平成23年 沖縄県バタック協会設立
- ・平成23年～現在：沖縄県かりゆし長寿大学非常勤講師
- 主な表彰等
- ・平成8年：レクリエーション運動普及功労賞（日本レクリエーション協会）
- ・平成10年：生涯スポーツ普及振興賞（文部大臣）
- ・平成12年：ラジオ体操普及振興賞（郵政大臣）
- ・平成20年：春の叙勲・瑞宝小綬章（内閣総理大臣）
- ・平成23年：スポーツ振興賞（日本オリンピック委員会）
- ・平成27年：スポーツ振興功労賞（沖縄県体育協会）



来賓祝辞の瑞慶覧長行様



乾杯の音頭の仲本興真様



思い出を語る宮良博之様



琉大ワングル OB 会長の嶺井隆様



レクインストラクター受講者の皆さん



フィナーレ

第31回福祉レクリエーション講習会開催

「楽に動くを支援するキネステイク」

講師：伊波弘幸先生（名桜大学人間健康学部看護学科准教授、
日本キネステイク普及協会ファシリテーター）

11月25日（日）北中城村総合社会福祉センターで開催された本講習会には12名が参加し、キネステイクについて学び、理解を深めました。

キネステイクでは、自然な動きの理解が深まり、介護する側も余計な力を使わず、楽に動くことを支援することができ、日常の介護動作が機能回復を促すリハビリにもなること等を学びました。



海あしびな～SUNフェスタ

「海あしびな～SUNフェスタ2018」に笑顔いっぱい！

10月21日（日）豊見城市の豊崎美らSUNビーチにおいて、標記フェスティバルが開催されました。台風24号による延期開催となりましたが、好天に恵まれ、200名余の参加者（子どもから高齢者まで、障がい者、健常者が垣根なく参加）が、会場でのカヤックやバナナボート、フィールドでのスポーツチャンバラやチャレンジザゲーム（県レク協会スタッフが支援）、ブラインドサッカー、車イスバスケット等多くの種目にチャレンジしていました。スタンブラリーで那覇一石垣往復ペアーチケットやバーベキューグリル等が当たる大抽選会もあり、会場のビーチは、歓声や笑い声で大いに盛り上がり、来年への期待が高まっていました。



沖縄市スポーツ・レクリエーション教室

12月15日（土）コザ運動公園内屋内運動場グリーンフィールドにおいて沖縄市障がい者福祉協会主催の沖縄市スポーツ・レクリエーション教室があり、県レクより5人の講師を派遣しました。

沖縄市の障がい者を対象とした取り組みで、高校生や専門学校のボランティアを含め50名ほどが参加し、2時間でラダーゲッター、輪投げ、ビーンボウリング、ハンド・アーチェリー、卓球バレー、マンカラをとおして楽しく交流ができました。



平成30年度レクインストラクター養成講習会修了♪♪♪

5月12日(土)から始まった本講座(幅広いレク支援者の人材育成を目的に毎年実施)を受講した12名が、レク理論と実技(51時間)に現場実習の全プログラムを履修し、10月20日(土)に修了式を迎え、吉田会長から受講者全員に修了証が授与されました。

アイスブレイキングやホスピタリティトレーニングの実習に意欲的に取り組み、宿泊研修ではロープワークやネイチャーゲーム、キャンドルサービスを体験し、薪を利用しての食事作りを楽しみ、現場実習としての県スポレク祭や民踊フェスティバルへの参加等盛りだくさんのプログラムにチャレンジし、多くのものを学びました。今後、福祉の現場や地域での活動に活かし、レク協会を支えるレク支援者に成長することを期待しています。



レク・インストラクター養成講座を受講して 高嶺 克子

私は、認可保育園でパートリーダー保育士として勤務していますが、以前より興味があったレクを通して子ども達との交流の和を深めたいこと、自分自身のスキルアップのために本講座を受講しました。

開講式では受講者が少なく不安でしたが、アイスブレイキングで不安が消え、教科書の表紙のテーマ「楽しさをとおした心の元気づくり」に心が和み、レク・インストラクターの資格取得まで頑張ろうと決意しました。

6月から10月までの5か月間で、理論、実技、演習を受講しました。糸満青少年の家のでの宿泊研修やねんりんピックへのボランティアスタッフとしての参加等多くのプログラムに取り組みました。

レク概念やレクに対する学説の深化を学ぶ中で、乳幼児の子ども達に携わっている保育士として、また、子育てをしてきた親としてまさにその通りと理解し、共感する教えや学説等に接したので、復習のため私なりにまとめてみました。

まず、レクリエーション(以下レク)とは、人々の心を元気にすることで、レク支援は、レク活動を用いて、人々が心を元気にすることを手助けすることと理解しました。レクで重視する資質は、相手との意思疎通を通して気持ちをひとつにするコミュニケーション能力が大切で、ラポール=信頼関係を構築する視点が重要であると理解を深めました。

レク誕生の歴史を紐解くと、19世紀~20世紀に、遊びを基盤にレクを説く先人達の次のような諸説が展開されたことを学び、レクへの興味と探究心が湧いてきました。

- フレーベル(世界初の幼稚園創設): 幼児期の遊びは、人間の発達・成長に重要な意味を持つものである。
- スペンサー(余剰エネルギー説): 遊びは生命体として持つ現実の生存競争で費やされる余剰なエネルギーの放出である。
- グロース(生活準備説): 遊びは将来の生活のための準備や練習である。
- ラツァルス(リラクセーション説): 遊びは不足したエネルギーを回復するための休養や気晴らしである。
- ヨハン・ホイジンガ(オランダの文化史家): あらゆる文化は、遊びの中で、遊ばれるものとして生まれ、遊びこそ人間の生活と文化を根底で支えるものである。

このような言説に感動し、レクへの認識を深めるとともに、私なりに次のようなことを思い、考えました。

幼児期の子ども達は、遊びの中で知恵が付き、生きていく力が育まれる。野外活動やゲーム遊び、音遊び、ダンス等とレクの活動体験が多いほど、情操教育に活かされると思いました。心が豊かで元気だと幸せを感じ、心にゆとりがあると相手とのコミュニケーションもうまくいき、対応力や想像力が働き、何事にも挑戦しようという意欲が湧き、自主的・主体的な行動力や協調性も身につくように思います。

本講座修了後も、レクへの意識を高め、ゲーム・ソング・ダンス等多くのレク財の修得に努めながら、子ども達から高齢者まで共に楽しく活動できる雰囲気づくりや自信をもって演出、支援できるレクリーダーとして、これからレクで出会い、交流する方々を大切に、いろいろな体験や実習を通して学んだ楽しいレクをいろいろな所で、いろいろな方々へ届けられたらいいなあと思っています。

一人でも多くの子ども達、高齢者、地域の方々との出会いや交流する場で、いつも笑いがあり、「もっとやりたい、楽しい」を引き出せるレクリーダーを目指し、自身のレクのスキルアップに精進し、レクの普及推進に少しでも役立てたらいいなあと思うようになりました。

講師の皆様、ご指導有難うございました。今後ともご指導鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

第21回沖縄県スポーツ・レクリエーション祭

～ 40種目で楽しく交流・体験 ～

9月17日から12月15日の間、県スポレク祭が16市町村において、40種目の競技や実技体験開催されました。県民の日常生活の中にスポーツ・レクリエーション活動を定着させ、明るく健康で心豊かな県民の育成を図ることを目的に開催しています。各参加団体の実施状況を紹介します。



フォークダンス



真美健康体操



3B体操



チャレンジゲーム

募集

平成30年度 レク公認指導者フォローアップ講習会

～ Making the あそび ～

既存のゲームや遊び、また、そのルール等にとらわれず基本的なレク用具やスポーツ用具、また身近にある生活用品等を活用し、アイデアと工夫で子供から大人まで「夢中になれる・楽しめる」オリジナルのゲームや遊びを作ってみませんか？

- 【日 時】 平成31年2月24日（日） 13：00～17：00
- 【場 所】 沖縄県総合運動公園 サブアリーナ
- 【主 催】 沖縄県レクリエーション協会
- 【後 援】 沖縄県
- 【内 容】 1部：Making the あそびの実践
2部：グループワークによる Making the あそびと発表
- 【講 師】 比嘉和也（沖縄県レクリエーション協会常任理事）
- 【受講料】 有資格者：1,000円（資格名／ID 記入）
一般参加：2,000円
- 【申込締切】 平成31年2月22日（金）まで
- 【その他】 受講される方は身近にある生活用品（ペットボトル・空缶・ハンガー等、他遊びに使えるような物）を2～3点準備してきてください。
・体育館用シューズ ・筆記用具

平成30年度 レク公認指導者フォローアップ講習会 受講申込書

この講習会はレク・インストラクター資格取得の単位対象です。
受講証を発行しますので、受講者の自宅住所・連絡先を必ずご記入ください。取得された単位は3年間有効です。

フリガナ	年 齢	歳	性 別	男・女
氏 名				
住 所	電 話 番 号 ()			
〒				
勤務先・活動先	資格名、ID番号（日レク協会有資格者のみ記入）			

参加者名欄が足りない場合は
コピーしてお使いください。
2月22日（金）まで

FAX

FAX 098-932-9870

2019年度

募集

レクリエーション・インストラクター養成講座

- 1 趣 旨： レクリエーションは健康づくり、仲間づくり、生きがいくづくり、住み良い豊かな生活づくりに欠かせない活動です。
時代の進展に伴い、レクリエーションの活動内容が多様化する今日、レクリエーション指導者や支援者の果たす役割は極めて大きなものとなってきました。その重要性に鑑み、時代の要求に応え職場や地域、福祉施設、青少年団体等のレクリエーション活動支援者の資質の向上を図ると共に日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター資格取得者を養成し、潤いのある住みよい豊かな地域や職場環境づくりに資するため本講座を開設します。
- 2 主 催： 沖縄県レクリエーション協会
公益財団法人日本レクリエーション協会
- 3 後 援： 沖縄県（予定）
- 4 日 時： 2019年5月11日（土）～11月3日（日）
- 5 会 場： 沖縄県総合運動公園内 サブアリーナ、レクドーム、郷土館、石川青少年の家
- 6 講座内容： 理論科目（9時間）、実技科目（27時間）、演習・実習科目（24時間）
- 7 対 象： 満18歳以上ならどなたでもお申込みいただけます。
- 8 受 講 料： 30,000円（公認指導者資格登録料が別途掛かります）
- 9 申込期間： **2月1日～4月25日**の間に**郵送・Fax・Eメール・電話にて**お申込ください。
- 10 申 込 先： 〒904-2173 沖縄市比屋根5-3-1 沖縄県総合運動公園内
沖縄県レクリエーション協会 13～18時（火曜・日曜・祝祭日休業）
TEL/FAX：098-932-9870
Eメール：oki-rec1974@jewel.ocn.ne.jp
- 11 受講料の支払い方法：お申込み後、下記の口座へお振込み下さい。
テキストの準備がありますのでお早めをお願いいたします。
※お支払いに関してはご相談に応じます。お気軽にお電話ください。
◎お振込：琉球銀行泡瀬支店 店番：517 口座番号：普通預金 **231378**
名義：沖縄県レクリエーション協会 会長 吉田 明正

2019年度レクリエーション・インストラクター養成講座 受講申込書

ふりがな 名前	男・女	Email	@
生年月日	西暦	年	月 日 生まれ 満（ ）歳
住 所	〒	(Tel)
勤務先名		(Tel)

参加者名欄が足りない場合は
コピーしてお使いください。

F A X

FAX 098-932-9870

遊びリンピックin沖縄

～子ども体験フェスティバル～

子どもや保護者を対象に、自然体験や生活体験等の楽しさや達成感を実感してもらおうと、平成30年10月27日（土）サンエー那覇メインプレイスにおいて「遊びリンピックin沖縄」が開催されました。

遊び・体験ブースには国立青少年の家、沖縄県レクリエーション協会をはじめとする6団体が、クラフトブースにはNPO法人沖縄伝承話資料センター、那覇市子ども会育成連絡会議等9団体が体験コーナーを設置、多くの家族連れで賑わった。沖レク協会は、「マンカラ」「ラダーゲッター」の体験コーナーを設置。知的ゲーム「マンカラ」には多くの子どもたちや大人がチャレンジし真剣勝負を繰り広げていました。



この事業は、子どもたちの体験の機会や場の拡充など、体験活動の推進について社会的気運の醸成を図る地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動の一環として開催されました。

沖レクだより(第52号)の感想をお寄せください

今後の広報誌づくりに役立てるため、皆さまのご感想を募集しています。

お寄せいただいたご感想は沖レクだよりやHPに掲載させて頂くこともあります。

- ・印象に残った、興味をもった記事とその感想など。

- ・参考になった、役に立った記事は。

- ・差支えなければ、お名前（匿名・ペンネーム可）を教えてください。

アンケートのご提出は下記までお送りください。なお、沖レクホームページ上でもアンケートを受け付けております。

沖縄県レクリエーション協会 事務局
〒904-2173 沖縄県沖縄市比屋根 5-3-1 県総合運動公園内
Tel/Fax 098-932-9870
E-Mail oki-rec1974@jewel.ocn.ne.jp
ホームページ <http://oki-rec.jimdo.com>

次号平成31年6月発行予定

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com

①9歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売:独立行政法人日本スポーツ振興センター